

いじめ問題と英語教育について

いじめの現状と対応は

質問 昨年9月にお尋ねしたいじめ件数は、小学校12件、中学校22件でしたが、現在の状況について伺います。また、いじめ防止には、保護者や地域との連携を強化した協力的な体制づくりが必要ですが、その考えについて伺います。

橋本 徹議員

答 本年度4月から1月末までの件数は、小学校34件、中学校46件で、小学校では5件のいじめが解消されておりません。また、いじめの発見に関しては、教職員の多くの目で児童生徒一人一人の様子の変化や心のサインを敏感に捉えるとともに、アンケートや本人

の訴え、保護者との相談などにより、早期発見に組織的に取り組んでおります。
不登校について

質問 文部科学省の調査では、学校を欠席するようになったきっかけは、嫌がらせやいじめなど友人との関係が半数を超えているとのことですが、不登校の現状について伺います。

答 不登校の児童生徒数は、小学校19人、中学校62人ですが、いじめを受けて不登校になっている児童生徒はおりません。

徒はおりません。
英語教育について

質問 文科省は、国際的に活躍できる人材の育成を目指し、英語教育を充実させるため、小学校では授業時間の増が見込まれておりますが、本市の英語教育の現状について伺います。

答 1、2年生は、歌やリズムを取り入れ、3、4年生は、英語や外国のことに興味を持てる活動、5、6年生は、学習指導要領に示されている目標に向けた

活動を実施しております。
質問 新学習指導要領が本格実施してから3年目を迎えた昨年5月、小学校英語の教科化が盛り込まれましたが、今後の取り組みについて伺います。

答 外国語教育を推進していく上で、未来を担う児童生徒が外国の人たちと進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、国際社会に生きる児童生徒の育成に向けて力を注いでいきたいと考えております。

公共施設のあり方と男女共同参画社会の促進

男女共同参画社会の促進

莊司由利恵 議員

公共施設のストックマネジメントと一元化管理について

質問 以前から続く公共施設の一般質問に関連する項目です。館林において公共建設物を新設するには莫大な費用を要しますので、今後は、既存施設を有効活用していかなければならない時代にきております。これ

からの公共施設の有効的な維持管理としてのストックマネジメントの考え方と、施設を一元的に把握して専門的に取り組む必要性についてどのように考え、検討していくのかお尋ねします。

答 スtockマネジメントの推進にあたっては三つの課題があります。①建物

の機能上の課題として、施設機能から時代に見合った施設機能への用途転換等のあり方。②修繕時期の集中による財政上課題として、老朽化が進み、修繕等への対応等々の改修費用は財政的に大きな課題。③施設を一元的に管理する上で、整備当時の図面が保存されていないケースもあり、図面をデータ化して一括保管する必要があります。

そして、一元化管理は建築課を窓口とし、全庁的にこれからの施設維持管理について共通認識を持ち、企画、財政、建築及び各主管課と情報を共有し、一元的に公共施設の管理運営が行えるよう、方針を立案する総括部門等々やマニュアル作成部門を統一させ、従来の各所管による管理運営ではなく、政策、財政面、技術的視点から施設の有効活用を考え、(仮称)事業実施プロジェクトを立ち上げ、公共施設の一元化に向けて検討してまいります。

要望 女性登用率の数値目標は、各種審議会が35%、市職員管理職が22%であります。現況は、審議会が23・2%、市職員が19%と低い登用率です。男女共同参画社会の促進を目指す館林では、市民協働の観点から男女を問わず人材を活かすために、女性職員の管理職登用の数値目標を35%にすることに要望します。